

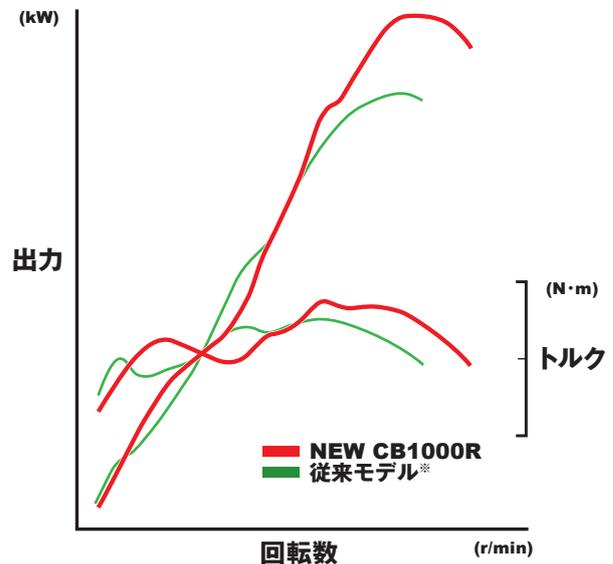
●出力特性、出力向上

最大トルクを104Nm/8,250rpmとし、力強い加速感につながっています。また、公道でのファンライドを考慮した、6000～8000rpmで特にトルクが上昇する特性は、さらなる高揚感をライダーに提供します。

最高出力は107 kW (145ps)/10,500rpmとすることで、伸びやかな吹け上がりを実現し、ワインディングでの一層のファンライドと高速道路などでの余裕を提供します。

新しいCB1000Rのエンジンは以下の各諸元を見直すことで、前述の高揚感溢れる出力特性と出力向上を実現しました。

■出力特性イメージ図



エンジン諸元比較図

モデル	従来モデル*	NEW CB1000R
圧縮比	11.2	11.6
ピストン製法	鋳造	鍛造
バルブリフト (IN / EXH) mm	7.9 / 7.8	8.5 / 8.1
スロットルボディサイズ (口径) mm	φ36	φ44

●動弁系変更

バルブリフト量アップと、バルブタイミング変更により出力向上を図りました。

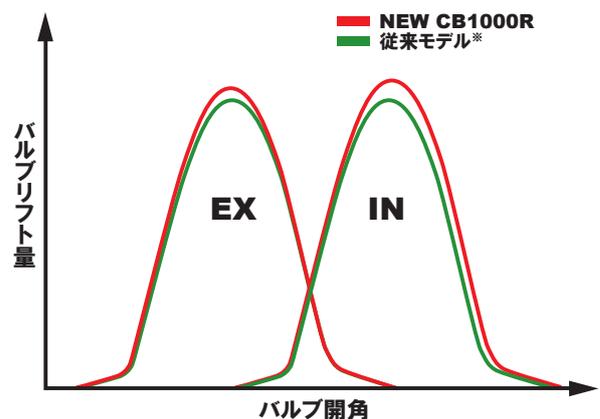
●圧縮比変更

出力向上のため、燃焼室形状、ピストン頭部形状を変更し、圧縮比を従来*の11.2から11.6に変更。ピストン材料には高強度の鍛造ピストンを採用し、形状を最適化することで軽量化と高回転化を図りました。

●インレットポート拡大

出力向上に必要な吸気量を確保するため、従来モデル*に対しインレットポート径を最大23%拡大、また、スロットルボディ径はφ36mmからφ44mmに拡大しました。

■バルブリフトカーブ 比較イメージ図



※ 国内未発表、欧州向けモデル